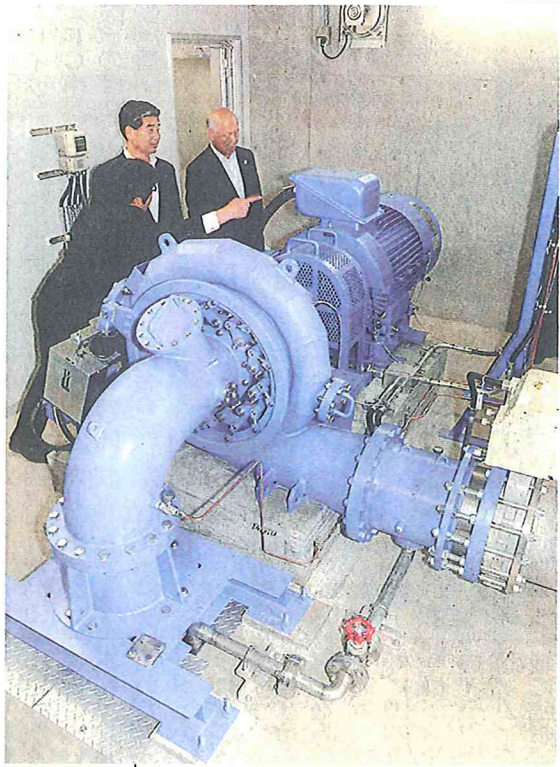


小水力発電所が完成

郡上・石徹白 農業用水を活用

郡上市白鳥町石徹白一力発電所のうち、国・白一号用水発電所が完成
で進められていた小水一県・同市が造った石徹一成一日、通電式が同



発電所で開かれた。

区内の農業用水を活用し、農村振興と再生可能エネルギー推進を目的に、二〇二二年度から二億二千三百万円で建設した。県内では中津川市に続き二番目。郡上市内では初。最大出力六十二キロワット年間発電量は一般家庭八十一軒分。年間千五百万円の売電収入が市に入る見込み。

式には日置敏明市長ら四十人が出席。日置市長は「明治期の先人が残した用水を活用

動き始めた発電機を見学する日置市長ら
郡上市白鳥町石徹白で

し、持続可能な循環型社会を目指す」と祝辞を述べ、来賓らと発電ボタンを押し、発電機を起動した。

同区内では住民らでつくる「石徹白農業用水農業協同組合」が、来年六月の稼働を目指して、もう一基の発電所を建設中。

(河北直行)